



子どもの本だな はるごう

幼児版



毎月23日は「宇美町読書の日」

宇美町立図書館



【ねむらせやのネミイ】

阿部 結／作

WAVE出版 Eネ

眠れずにお困りのお客さま、ネミイの家へさあおいで。だれでもぐっすり眠れるように「ねむらせやのネミイ」が最高級の眠りヘエスコート。ネミイはお客様が眠れるよう、いろいろな作戦を立てますが…!?

【たんぼぼのちいさいたねこちゃん】



なかや みわ／さく

学研教育みらい Eタ

たねこちゃんは、たんぼぼの綿毛の子。小さくて弱くて自分に自信がありません。ある日、すずめに連れられて、散々な目にあってしまい…。泣いて笑って、ちょっぴり自分に自信がつくお話。見返りにたんぼぼのおはなし等あり。



【チキカンゲー】

樋勝 朋巳／作

こぐま社 AGEチ

チキカーン、チキカーン、チキカーン、ゲー。陽気なわんちゃんがタンバリンを手に進んでいくと、ねこちゃん、おいもちゃん、メルちゃんが登場。リズムに乗って、みんなで楽しく歩いていくと…。おどろくなるあかちゃん絵本

【のりものの一せてのせて】



三浦 太郎／作

講談社 AP Eノ

「の一せてのせて」といろんなくるまがやってきます。トラック、きかんしゃ、ひこうき、カーキャリアに、次々とくるまがのって…!? 乗り物いっぱい、色いっぱいの読み聞かせに最適な絵本。

【つきをなくしたクマくん】



谷口 智則／著

文溪堂 Eツ

いつもひとりぼっちのクマくんは、冬眠から目を覚ましてびっくり。胸にあったはずの月のもようがありません。月を探しに出たクマくんが森の中で出会ったのは、同じく月をなくした女の子で…。出会いの喜びがあらわれる絵本。



【これ、なーんだ?】

今井 しのぶ／写真

マイルスタッフ AGEコ

身近なものを虫メガネで見してみよう。赤くてツブツブがいっぱいついている。これ、なーんだ? ピカピカでリボンみたいな模様がある。これ、なーんだ? 虫メガネで拡大した世界を楽しめる絵本。



【ちいさいひなた】

山田 美津子／作

佼成出版社 AP Eチ

小さいひなた、つかまえた。あれ? つかまらない。なんない、ひなた。どこいった? 光の差し込み具合で、時間の流れとともに現れては消える、小さな「ひなた」。ひなたの移ろいを子どもの目線で描くあたたかな絵本。



【バジとばじくん】

松丘 コウ／作・絵

フレーベル館 Eバ

なんでもできる、自分と同じ名前の「ばじくん」に嫉妬するヤギのバジ。ばじくんにどうにか勝とうと考えますが、うまくいきません。雨が降るなか、体中にどろのつけあいをしたふたりは仲良くなって…。